

2016年10月17日

日本ケロッグ合同会社

Kellogg's Breakfasts for Better Days™

ケロッグ社が「2025年までに全世界で25億食分の食料を寄贈」と発表 日本においても従業員によるボランティア活動を通じたシリアル提供実施などCSRをさらに強化

シリアル食品の世界シェアトップブランド「ケロッグ」を180ヶ国以上で展開しているケロッグ社（Kellogg Company、本社：米国ミシガン州バトルクリーク）は、CSRの一環として2013年3月よりグローバルで推進している朝食提供支援プログラム「Breakfasts for Better Days™」の新たな目標として、“Fighting Hunger, Feeding Potential（飢餓と戦い、未来を支える人々に食料を）”というスローガンのもと、食料支援を必要としている世界中の子どもたちやそのご家族にむけて、**2025年までに全世界で25億食分の食料を寄贈する計画**を発表いたしました。また、日本においては、この「Breakfasts for Better Days™」の新たな目標を達成するための皮切りとして、10月16日の「世界食料デー」(World Food Day：国連が制定)にむけた従業員ボランティアによる製品寄贈活動を10月14日（金）に実施いたしました。



■ケロッグの朝食提供支援プログラム「Breakfasts for Better Days™」の新たな目標について

「家族が繁栄し成長できるように、栄養を与え育む」という企業目的を掲げているケロッグ社は、世界の約9人に1人が飢餓問題に直面しているという状況をふまえ、朝食カテゴリーだけではなく、食料・飢餓問題の領域においてもリーディングカンパニーになることを目指し、2013年3月より、「Breakfasts for Better Days™」という朝食提供支援プログラムを開始しました。ケロッグ社は、当プログラムを通じて、食料支援を必要としている世界中の子どもたちやそのご家族にシリアルやスナックをご提供し、活動初年度の2013年度から2016年末までに各国合計で10億食分の製品寄贈を実施することを第1フェーズの目標としておりましたが、今年10月の時点で製品寄贈量は17億食以上に達し、目標を大幅に上回って早期に達成いたしました。

2050年までに全世界の人口は90億人に達し、世界における食料供給量は現状よりさらに70%必要になると推測されています。この状況を背景に、ケロッグ社は「Breakfasts for Better Days™」の新たな目標を発表いたしました。この新目標は、10月13日（木）に米国アイオワ州で開催された、今年で30年目を迎える世界的な食糧・飢餓問題に関するサミット「World Food Prize」の式典においてケロッグ社CEOのJohn Bryant（ジョン・ブライアント）より発表され、以下の5項目によって構成されています。

- ① 世界各国におけるフードバンクおよびその他団体との連携により、食料支援を必要としている世界中の子どもたちやそのご家族にむけて、2025年までに合計で25億食分の食料（シリアルやスナック）を寄贈
- ② 世界各国の「Breakfast Club」（朝の学童保育）への支援拡大を通じて、200万人の子どもたちに朝食を提供
- ③ 「Climate Smart Agriculture」（気候変動対応型農業）の支援により、農作物の収穫量を増やし、気候変動に対する耐性を高め、ポストハーベスト・ロス（収穫後の農作物の損失）や食品廃棄を減らすことで、世界各国の50万人の農業従事者とそのご家族およびコミュニティを支援
- ④ 世界各国のケロッグ従業員が、フードバンクや朝食提供支援プログラムにおいて、延べ45,000日のボランティア活動に従事
- ⑤ チャリティ企画連動プロモーションやWEBサイト・SNS等におけるキャンペーンへの参加を通じて、世界中の延べ3億人の方々が「Breakfasts for Better Days™」に参加

この新目標の達成にむけ、“朝食の専門家”であるケロッグ社は、日本を含む世界各国において、「Breakfasts for Better Days™」の活動をさらに強化して推進してまいります。

■日本では「世界食料デー」にむけて 3,000 名以上の子どもたちにシリアルを提供するボランティア活動を実施

世界各国のケロッグでは、「Breakfasts for Better Days™」の一環として、毎年 10 月 16 日の「世界食料デー」にむけて、従業員によるボランティア活動を実施しています。今年、日本ケロッグでは、2008 年以来、食品サポーターとして支援を続けているフードバンク「セカンドハーベスト・ジャパン」との共同企画を実施しました。

当企画は、10 月 14 日（金）にセカンドハーベスト・ジャパンのオフィス（東京都台東区）と日本ケロッグの高崎工場（群馬県高崎市）の 2 か所において実施され、日本ケロッグの従業員ボランティア（2 か所合計で 49 名が参加）が「コーンフロスティ」や「フロスティ 成長応援グラノラ」等の子ども向けシリアル 4 種類をオリジナルの『ケロッグ わくわくシリアル BOX』（合計 3,000 箱）に詰め、セカンドハーベスト・ジャパンから児童養護施設や母子支援施設、子どもの学習/生活支援団体をはじめとする計 60 の施設/団体へ配送手配を行い、支援が必要な子どもたちに朝食用シリアルをお届けしました。当企画の実施にあたり、セカンドハーベスト・ジャパンのフードバンク部長・増田氏は、「成長期の子どもたちにとって朝食は非常に重要だが、支援を必要としている家庭で暮らす子どもたちは、経済的事情などにより朝食を欠食する率が高い傾向にある。シリアルはおいしくて栄養バランスも良く、子どもが自分で用意することもできるため、今回の『ケロッグわくわくシリアル BOX』を受け取った子どもたちにはとても喜んでもらうことができた。また、児童養護施設の子どものたちにとっても、1 人ずつかわいい BOX でプレゼントされたことで喜びも一段と大きかった。」とコメントしました。

また、日本ケロッグは、セカンドハーベスト・ジャパンに毎月定期的に自社製品を寄贈しており、10 月はこの『ケロッグわくわくシリアル BOX』3,000 箱の提供に加えて、「フロスティ 成長応援グラノラ」計 5,040 袋をセカンドハーベスト・ジャパンに提供いたしました。さらに、京都府を中心にフードバンク活動とこども食堂の支援を行っている「セカンドハーベスト京都」（京都府京都市）に対しても、「フロスティ 成長応援グラノラ」計 1,332 袋を提供いたしました。

■日本ケロッグの「Breakfasts for Better Days™」活動について

日本ケロッグは、「朝食の専門家」として子どもたちの支援活動にも力を入れており、セカンドハーベスト・ジャパンへの毎月のシリアル寄贈にとどまらず、今年からは、豊島区の NPO 法人「豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク」が運営する子ども食堂（計 3 ヶ所）や、足立区「居場所を兼ねた学習支援事業」（10 月時点で計 2 か所、今後は計 3 か所に提供予定）にむけて、利用している子どもたちが朝食用として自宅に持ち帰ることができるよう、シリアルを無償で毎月提供しています。

また、今年の夏休み期間中は、足立区の「平野屋こども食堂」において食育教室を実施するとともに、足立区の協力により、区内で活動するその他の子ども支援団体・計 3 団体にもシリアルの無償提供を行いました。今後も日本ケロッグは、1 人でも多くの子どもたちが栄養バランスの良い朝食を摂ることができるよう、ケロッグ社が今回発表した「Breakfasts for Better Days™」の新たな目標の達成にむけ、「支援」と「食育」の両面からのサポートをさらに拡大してまいります。

世界シェア No.1 のシリアルメーカー “ケロッグ”について

ケロッグ社（Kellogg Company）は、人々にとって大切な食品とブランドを通じて、世界に豊かさ楽しさを提供することを使命としています。1894 年にケロッグ社の創設者である W.K.ケロッグが米国ミシガン州バトルクリークにおいて、保養所の人々のために食物繊維が豊富な穀物を材料に、食べやすく栄養が豊富な食品としてシリアルの原形となる「グラノーズ」を発明してから 1 世紀以上を経た現在では、180 カ国以上で事業を展開する世界的な食品メーカーとなっています。2015 年の売上高は 135 億ドルで、シリアルのメーカーとしては世界第 1 位、クッキー、クラッカー、スナックのメーカーとしては世界第 2 位の規模を誇ります。1906 年の会社設立以来、ケロッグのシリアルは世界各国においてご支持をいただき、今年 2 月 19 日をもちまして設立 110 周年を迎えました。

日本ケロッグと製品ラインナップについて

日本ケロッグは、100 年以上にわたって「朝食を通じた心とからだの健康」を研究し続けてきた朝食の専門家「ケロッグ」の基本精神を受け継ぎ、1962 年に米国ケロッグ社 100% 出資の日本法人として設立されました。以来半世紀以上にわたって、太陽と大地の恵みを受けて育った、玄米、小麦、大麦、とうもろこしなどの穀物のエネルギーと、バランスのよい栄養がたっぷり詰まったシリアルを日本の朝の食卓にお届けすることを通じて、お客様の気持ち良い一日のスタートを応援しています。「太陽の恵みで、いい一日をスタート。」というキーメッセージのもと、大人向けには「フルーツグラノラ」「オーלבラン」「玄米フレーク」、子ども向けには「フロスティ」「ココくん」など、大人から子ども向けまで、あらゆるターゲットのニーズに応えられるバラエティ豊富な製品ラインナップをご提供しています。

■プレスリリースに関するお問合せ先：

日本ケロッグ広報代理 ブルーカレント・ジャパン株式会社 担当：古川・辻・印南
TEL：03-6204-4141 / FAX：03-6204-4142 / E-mail：Kellogg-info@bluecurrentgroup.com

■ご掲載時のお客様からのお問合せ先：

日本ケロッグ合同会社 お客様相談室フリーダイヤル：0120-500209 <受付：月～金 9:00～17:00 土日祝(祭)日除く>